

令和7年度 第2回 金指小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月3日（木）13時12分から15時2分まで
- 2 開催場所 金指小学校 さかみちホール
- 3 出席委員 山本 繁夫、黒瀬 憲太郎、高須 俊二、岩崎 美千代、石原 彰浩、高木 克芳、内山 康子、巨島 信慶、清水 明日香、小原 和代
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 前田 一成（校長）、柳田 葉子（教頭）、杉山 瑛一（CS担当教員）、入手 佑香（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 入手 佑香
- 8 議長の選出
石原委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員意義なくこれを承認した。
- 9 協議事項
(1) かなさし発見ポイントウォークについて
- 10 会議記録
司会の教務主任から、委員総数10人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和7年度かなさし発見ポイントウォークについて

今年度は、高学年児童が企画段階から積極的に参加することで、主体的に行事に取り組むことを促す新しい試みとして、「かなさし発見ポイントウォーク」を作り上げる計画を進めている。子供たちの自主性やリーダーシップを育むとともに、協力して目標を達成する喜びを味わう機会となる。

子供たちから現在考えていることの発表があり、その後、各グループでコースの検討やポイント場所について意見を交換しながら熟議を行った。

【Aグループ：山本会長、黒瀬委員、小原委員、教頭】

- ・ 地域の方々との関わりや幼稚園との連携、シニアクラブとの連携を両立させることには、時間的な制約がある。
- ・ 小学校から北側のコース 道標を北上していく→旧金指農村公園→東名興産（新工場の見学）→コミュニティセンター→ミセキヤ→歴史の町並みの話をしながら学校へ帰校する。
- ・ コミュニティセンターでは、小学生、幼稚園児、シニアクラブのメンバーが交流できる活動を実施する。

【Bグループ：内山委員、石原委員、岩崎委員、清水委員、校長、入手】

- ・ 子供たちが「不思議だな」と感じる場所をポイントの候補としてコースを考える。
- ・ 御陣屋方面に住んでいる子供たちが多く、過去のポイントウォークでは御陣屋には行っていない。距離はややあるが、御陣屋周辺をコースに含めては

はどうか。

- ・ 金指地区には、10区から16区までの区画があり、昔ながらの地名が残っている。歩きながら、各地名の由来や歴史について説明を行いながら巡ることで、地域の歴史や文化に触れる。

【Cグループ：高木委員、高須委員、巨島委員、教務主任】

- ・ 過去のコースを参考にしながら、子供たちの意見も取り入れて、コースを考える。
- ・ 子供たちの思いとして、地域の方々や幼稚園児との交流を希望していた。子供たちの思いを大切にしながら、交流できる場をコミュニティセンターとして活用するコースを設定してはどうか。
- ・ 子供たちがどのような交流を望むのかを、子供たち自身が企画を練ることで具体的にどのように協力できるのかが明確になる。
- ・ 新しいものを発見することだけが「発見」ではなく、今まで気づかなかったことや見過ごしていた事柄を見つけ出すことも発見と捉える。

- ・ コミュニティセンターを交流の場として、幼稚園児とシニアクラブの方々に来てもらい交流を図ることは可能なのか。(教頭)
- ・ 小学生、幼稚園児、シニアクラブの人数を合わせると、20人弱になるため、会場の広さを考慮しても十分に交流が可能だと思う。(山本委員)
- ・ コミュニティセンターでの活動内容は、小学生が企画した方がよいのか。
(教頭)
- ・ 小学生が企画を考えることを主体としているため、その企画にシニアクラブの方々が参加してもらう形になると思う。(山本委員)

- ・ その他報告事項等

司会から、第3回学校運営協議会は、9月10日(水)午後1時15分からさかみちホールで開催する旨の報告があった。